

安倍首相が来町

7月11日(土)、安倍首相が来町し町内の復興状況を視察しました。まず、さんさん商店街を訪問し、次に、6月末に完成したJ A南三陸本店・志津川支店や現在建設中の南三陸病院を視察しました。その後、町役場において生活不活発病・心のケアの車座意見交換会を行いました。意見交換には同病の改善策を講じてきた大川医師や、心の復興事業に採択されているNPO法人夢未来南三陸の関係者らなどが出席しました。首相は、同病の予防に向けた普及啓発の必要性や対策、また、心身のケアに向けた支援状況等を聞いた後、出席者と意見を交わしました。



長谷部選手 園児と交流

6月17日(水)、長谷部選手があさひ幼稚園を訪問しました。東日本大震災の津波により被災した同園の再建を自身の著書の印税などで支援した長谷部選手。5回目の訪問となる今回は、昨年12月、スマトラ沖地震から10年となったインドネシアのバンダ・アチエを訪問した際の報告を園児にしました。長谷部選手はあさひ幼稚園児が描いた寄せ書きを届けたことを伝え、バンダ・アチエの幼稚園児から預かってきた、民族衣装やひまわりが描かれた絵を園児に届けました。その後、長谷部選手は、園児に絵本を読み聞かせたり、園児と一緒に園庭を駆け回ったりと、園児は楽しいひと時を過ごしました。



南三陸のおいしさ発信

7月8日(水)、南三陸ポータルセンターにおいて「南三陸ブランド戦略協議会」の事業方針発表会が行われました。同協議会は歌津地区の「歌津うめえもの研究会」、志津川の「南三陸おふくろの味研究会」、戸倉の「戸倉漁師の会」の3団体で組織され、地元の水産業生産者などと連携し、共同で海産物や農産物の加工品開発や販売強化、情報発信などに取り組んでいきます。また、「いいもの南三陸」と記されたブランドマークが作成され、南三陸ブランドの確立を目指し、今後事業が展開されていきます。これらの活動には、キリングroupから総額6千万円が助成され、支援贈呈式が同日に行われました。



ハレバレー

7月1日(水)、高齢者の交流拠点施設「晴谷驛(ハレバレー)」の完成披露開所式が現地で行われました。「晴谷」には入谷に設けた拠点が晴々とした雰囲気で開催できるようにという思い、「驛」にはこの場が駅のように多くの人が集まり交流できる場プラットフォームであり待合室であって欲しいという願いが込められています。施設では、習字や木工、陶芸のほか、植木のせんていや料理教室などの技能講習会などが予定されています。これから、地域の人々が気軽に集まり、あそび場、学び場、結び場として期待されます。



見守りに

6月24日(水)、町と河北新報社との間で「高齢者等のための見守りの取組みに関する協力協定」を締結しました。高齢者等の見守りの活動については、高齢者が安心して日常生活を営めるよう支援することを目的として、2004年に宮城県警と河北新報まごころネットワークとの間で覚書が締結されました。その後、2014年に多賀城市と締結された協定を皮切りに、県内全市町村との連携及び協定の締結が進められています。協定の内容は、新聞配達による訪問の際、新聞がたまっていて応答がないなどの異変があった場合に、町の担当部署や警察等に連絡するなどの協力、支援をするものです。県内の自治体との見守り協定の締結は本町で20例目となり、町民の安全安心を守る役割を果たすものとして期待されます。

高齢者等のための見守りの取組み 協力協定締結式



ナイター野球リーグ

南三陸町ナイター野球リーグが5年ぶりに復活し、6月23日(火)平成の森しおがざ球場において開幕試合が行われました。職場や地域の人で組まれた計6チームが参加し、総当たり戦で試合が展開されます。9月10日(木)まで毎週火、木曜日の午後7時30分から各チームが熱戦を繰り広げます。皆さんもぜひ一度観戦に行かれてはいかがでしょうか。

